

質量分析 (mass spectrometry)

「質量分析」とは、試料をイオン化し生成したイオンを電界や磁界または TOF により分離しその値をスペクトルとして得る分析方法のひとつである。得られたスペクトルから分子量がわかるとともに、フラグメンテーションから分子構造に対して重要な情報が得られる。

GC-TOF (JMS-T100GCV)

GC-EI、GC-FI、FD のイオン源が使用できます。

分析対象試料

GC-EI

化合物（混合物）の各成分の分子量測定を行いライブラリー検索により化合物の定性が可能。

GC-FI

EI のイオン化では分子量の確認が難しい化合物に有効。

FD

極性が低く ESI ではイオン化が困難でありまた EI、FI ではイオン化が難しい難揮発性の化合物に有効。

結果の引渡し日 : 原則 7 日後

LC-TOF (JMS-T100LC)

ESI のイオン源を装備し、精密質量測定も行えます。

分析対象試料、

逆相系で分離する水溶性化合物・中極性から高極性の化合物で水またはメタノール、アセトニトリルに溶解する化合物。

結果の引渡し日 : 原則 7 日後